

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 4日 更新

事務事業名		須屋支所移転事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	市民部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	市民課
	基本事業	87	市民サービスの向上		所属班	須屋支所
予算科目	会計	会	款	項	目	事業連番
	一般	2	1	18	11564	法令根拠
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 ~ 24 年度)
成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	須屋支所敷地、隣接駐車場用地は、現在民間からの借用地であるため、年間221万円の費用が発生している。平成25年3月31日で10年間の契約満了となるが、行政財産で借用地を保有するというのは、本来好ましくないという意見もあるため、須屋市民センター内へ須屋支所機能を移転させて、施設の効率的な運用と市民の利便性を高める。須屋支所は4人の職員が事務にあたり、事務室62㎡+待合室26㎡=88㎡の広さを必要とするが、須屋市民センターの事務室面積は約36㎡の広さしかないため、市民センターを現状のまま、支所を移転させることは難しく増築が必要となる。須屋支所を市民センターに移設し、併せてセンター駐車場を整備する事業である。
【業務の流れ】	市民センター事務所を活かして増築を行うには、借地期間が終了する24年度末までに移転工事を終了させなければならない。平成23年度に実施設計を行う必要があるため、平成23年9月に補正予算を計上し、増築工事の設計委託契約を締結し現在実施設計を行っている。
【主な予算費目】	委託料(須屋市民センター増築工事設計委託)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	須屋コミュニティ代表者会議の中では、①市民センター、支所が1箇所にあれば便利になるが、駐車場が狭くなる。②高齢者にとって電車の駅が近くで便利であるが、市民センターまで高齢者が歩くのは負担がかかるのではないかと意見があった。議会からは、財政が厳しい折から須屋市民センターとの統合はできないかとの意見が出されていた。須屋支所用地地権者からは、市の方針であれば仕方がないとの回答を得ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	須屋市民センター増築工事設計委託	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 須屋市民センター増築工事、事務所移転(引越し)、
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由 須屋支所移転に伴う工事請負費等の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	①市民センター及び支所 ②利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	①効率的に運営できる。②利便性が高まる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~24年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア										
	イ										
②対象指標	ア										
	イ										
③成果指標	ア										
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円				1,942	27,633			
		(A)のうち指定経費	千円			0	1,942	27,633			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	290			
	人件費	正規職員従事人数	人			2	2	4			
		延べ業務時間	時間			10	10	200			
(B)人件費計		千円			41	40	824				
トータルコスト(A)+(B)		千円			41	1,982	28,457				

事務事業名	須屋支所移転事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						